



訪ねて

ふるさとを

ふるさとと紹介シリーズ一巡目の最後は、三重町菅尾を訪ねました。

本府から国道326号を大朝方面へ車で15分、大野川と三重川に挟まれたこの地域には、中世平安時代からの史跡が多く残っています。その史跡について、三重町浅瀬の菅田侃さんにお話を伺いました。

国指定重要文化財
国指定史跡

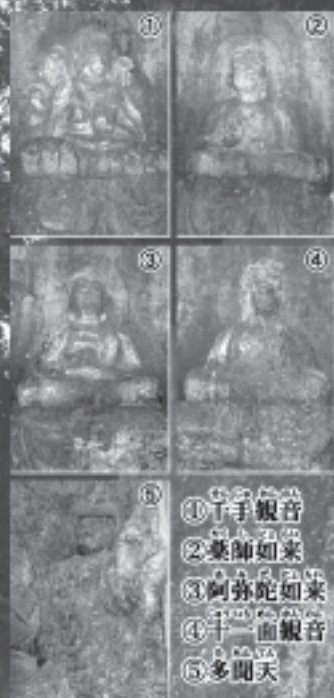
菅尾石仏

半彫りとなった多聞天

平安時代後期、鬼のいたずらに悩まされた村人が、いたずらをやめさせようと鬼に申し入れたところ、「嫁を世話すればやめてやる」とのことでした。困った村人は相談し、「一番鶏が鳴くまでの一晩のうち、石仏を5体彫ることができたら、嫁を世話しよう」ということになりました。

ところが、鬼が石仏を彫る速さは、夜明け前に5体すべて彫り上げてしまおうな勢いでした。これを見た村人は再び相談をして、宇対瀬にいる鶏の鳴きまね名人に、近くの寺の屋根の上で、鳴きまねをさせました。

この鳴きまねがあまりに上手だったので、宇対瀬や栗山の鶏たちも一斉に鳴きだし、これを聞いた鬼は夜が明けたと思ひ、石仏を彫るのを途中でやめて退散したとのこと。



①千手観音
②兼師如来
③阿弥陀如来
④十一面観音
⑤多聞天

市指定史跡

六字名号

見る人を圧倒する筆力

菅尾石仏と並んで宇対瀬地区を見下ろすように岩盤に彫られたのが六字名号。白鹿山妙覚寺懸首座の筆跡で「南無阿弥陀佛」と彫られた6文字は、ひとつの文字が、縦横それぞれ2メートルもの大きさで、仰ぎ見る人を圧倒します。宝暦3年(1753年)から2ヶ年をかけて完成したものです。



菅尾 石仏をはじめとする地域の皆さんのボランティアによって支えられ、今日も訪れる方の心を和ませてくれています。



丁寧な説明をしてくれた菅田侃さん

その他の指定史跡

智福寺跡、中世森迫氏墓地、森迫石輪、虹潤橋、的場石輪、有田石輪、細長繁栄記、中世墳・塔

公立おがた総合病院の 名称変更を

～早い段階で実施～



あか みね けん じ
赤 嶺 謙 二

質 現状での、医師確保の取り組み状況は。

答 市長

全国的に医師不足の中、県・市一体となつて大学に働きかけを行っています。厳しい状況ですが、今後も医師確保に取り組んでまいります。



質 来年10月より県立三重病院と統合されるが、新しく生まれ変わる意味も込めて、病院の名称変更を公募により実施しては。

答 市長

両病院が担ってきた役割を継承し、地域の中核病院として、新しくスタートすることが重要です。

名称変更は、市民の病院であるという意識付けのためにも、早い段階で決定し、市民の皆さまへ周知していきたい。

質 税金と利用料の滞納について、最新の状況は。

答 総務部長

平成21年7月末現在、市民税2138万9520円、固定資産税3464万9070円、国民健康保険税2864万3373円、保育料215万3380円、給食費242万4204円となっております。

前納報奨金制度の
見直しを
不公平感の是正のため

質 納税意欲向上の面から、前納報奨金制度を残しては。

答 総務部長

特別徴収される給与所得者は、制度の恩恵を受けられず、不公平感がありました。公平な税徴収のため、廃止したい。



口座振替依頼書
納税は便利な口座振替で